



県文化財保護審議会
副会長 村田敬一さん

寺社が語る地域の歴史

群馬県は寺社をはじめとした歴史的建造物に関する資料が少ないため、その歴史や価値を正確に知ることができず、中には取り壊されてしまった貴重な建造物もありました。そこで現在、県内にある約400の寺や神社の建築調査を行っています。今回の調査をきっかけとして、県民の皆さんに自分たちの先祖が生きた歴史を証明するものの一つとして、寺社の価値を知ってもらいたいです。

群馬の寺社建築には、装飾をふんだんにあしらったものが多いです。特に神社は、江戸時代に幕府や藩が力を失いつつある中で、庶民が中心になって建設されたので、エネルギーあふれる装飾が多いのが特徴です。訪れたときは正面だけでなく側面や背面など、いろいろな角度から見ると、彫刻や装飾の技術の高さが分かります。身近な歴史に思いをはせながら眺めてみてください。

ぐんまの神社を見るだけで分かる！～

江戸時代後期



雷電神社本殿（板倉町）



建物の縁の下にも注目！

江戸時代後期の特徴

- ・軒下や壁の他、縁の下にも装飾される。そのため建物を高い位置に造るように
- ・県内で活躍した高い技術を持つ彫物師集団が関わった装飾が多い
- ・同時期に建てられた神社本殿 榛名神社（高崎市）、桐生天満宮（桐生市） など

豆知識

西と東で異なる 建てられた年代

関西は桃山時代以前の寺社が、関東は江戸時代以降の寺社が多くあります。県内の寺社建築のほとんどは江戸時代のもので、それ以前にさかのぼるのは雷電神社の末社八幡宮稲荷神社社殿（板倉町）など少数です。



発信

SNSなどで魅力を発信してみよう！

※SNS…ソーシャルネットワーキングサービス
フェイスブック ツイッター インスタグラム
Facebook、Twitter、Instagram など

群馬の寺社を訪れたら、感動や発見を写真に撮って SNS などでも発信してみましょう。

現在「ぐんまの魅力」を伝える写真を写真共有アプリ「Instagram」上で募集する「FIND GUNMA! フォトコンテスト」を開催しています。詳しくは県ホームページ (https://www.pref.gunma.jp/07/b21g_00420.html) をご覧ください。



寺社の魅力を発見・発信するための県の取り組み

①ぐんま近世寺社魅力発掘・発信事業シンポジウム

— 近世寺社を守り、伝え、活かす —

日時 3月8日（日）午後0時30分～ 4時30分

場所 群馬会館（前橋市大手町）

内容 講演、パネルディスカッション、神楽の実演など

パネリスト

- ・村田敬一（県文化財保護審議会副会長）
- ・上野勝久（東京藝術大学教授）
- ・大橋竜太（東京家政学院大学教授）
- ・大野 敏（横浜国立大学教授）
- ・丑木幸男（国文学研究資料館名誉教授）
- ・鯉登茂行（産泰神社宮司）

定員 400人（先着順）

申し込み方法 当日、直接会場にお越しください

問い合わせ先 県庁文化財保護課（☎下記）

②寺社探索アプリ「ぐんま寺社巡り」

県内の代表的な神社や寺院、関連する施設や文化財を楽しみながら巡り、その魅力や価値を知ることができるアプリを、3月に公開予定です。

③パンフレット

今年の4～6月に開催予定の群馬デスティネーションキャンペーン（群馬DC）に合わせて、県内の代表的な寺社仏閣についてまとめたパンフレットを作成しています。3月に完成予定です。



アプリ完成図（予定）
※画面は開発中のものです